



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年1月29日

上場会社名 株式会社PALTAC

上場取引所 東

コード番号 8283 URL <http://www.paltac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 糟谷 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画室長 (氏名) 嶋田 政治

TEL 06-4793-1090

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	798,396	2.4	19,409	5.2	21,448	6.5	14,974	5.3
2019年3月期第3四半期	779,591	5.6	20,484	8.8	22,942	11.2	15,811	12.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	235.64	
2019年3月期第3四半期	248.81	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	429,473	208,314	48.5	3,278.10
2019年3月期	393,603	197,237	50.1	3,103.80

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 208,314百万円 2019年3月期 197,237百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		34.00		34.00	68.00
2020年3月期		35.00			
2020年3月期(予想)				35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,050,000	3.4	25,000	1.6	27,500	3.6	25,500	29.0	401.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	63,553,485 株	2019年3月期	63,553,485 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	6,287 株	2019年3月期	6,237 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	63,547,216 株	2019年3月期3Q	63,547,260 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
3. 補足情報 .....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が持続しているものの、消費税率の上げが消費者マインドへ及ぼす影響や、米中通商問題をはじめとする海外経済の動向など、先行きの不透明な状況で推移いたしました。

化粧品・日用品、一般用医薬品業界においては、女性の社会進出などによって多様化する消費者ニーズにあわせた高付加価値商品は堅調に推移いたしました。台風や大雨などの度重なる自然災害や、気候要因による季節商品の不調、インバウンド需要の環境変化、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要とその反動減などによる様々な影響を受けることとなりました。また、業界全体の成長を妨げかねない人手不足は、人件費や物流費の上昇を伴い、随所においてその影響がさらに大きくなっております。

このような状況のなか、当社は「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで提供する中間流通業として、サプライチェーン全体の最適化・効率化を目指した取組みを行っております。小売業の効果的な品揃えや販売活動を支援する営業体制の強化、及び安心・安全で高品質・ローコスト物流機能の強化を図り、平時はもとより有事の際にも「安定供給」できる体制により、小売業ひいては消費者のみならずローコストかつ安定的に商品をお届けする取組みを行っております。

当事業年度は「1兆円、その先へ～攻めの投資で流通改革に挑戦～」をビジョンとする中期経営計画の2年目にあたり、労働人口減少に伴う人手不足への対応をはじめとした流通における課題の解決を推進し、持続的成長による企業価値向上に取り組んでおります。

また、中期経営計画の一環として、首都圏での出荷能力増強とAI・ロボット等を活用した新物流モデルの展開による飛躍的な生産性向上を目的とした「RDC埼玉」(埼玉県北葛飾郡杉戸町)を2019年11月に稼働させたほか、首都圏における最適出荷体制の構築と経営資源の有効活用による資産の効率化を図るため「RDC東京」(千葉県浦安市)の売却を決定するなど、事業基盤強化に向けた取組みを計画どおり進めております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高7,983億96百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益194億9百万円(前年同期比5.2%減)、経常利益214億48百万円(前年同期比6.5%減)、四半期純利益149億74百万円(前年同期比5.3%減)となりました。

なお、当社のセグメント報告は、単一セグメントのためセグメント別の記載を省略しております。

(注) RDC (Regional Distribution Center) とは、大型物流センターのことをいいます。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて358億69百万円増加し、4,294億73百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が97億24百万円、商品及び製品が125億1百万円、建物が64億31百万円、土地が39億2百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて247億93百万円増加し、2,211億59百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が238億41百万円、短期借入金が70億円増加したことや、未払法人税等が28億63百万円、賞与引当金が9億7百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて110億76百万円増加し、2,083億14百万円となりました。これは主に、利益剰余金が105億89百万円、その他有価証券評価差額金が4億83百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末より55百万円増加し、184億14百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は157億15百万円(前年同期比128億1百万円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益217億55百万円、売上債権の増加額97億24百万円、たな卸資産の増加額125億1百万円、仕入債務の増加額243億98百万円、法人税等の支払額89億18百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は135億65百万円(前年同期比44億7百万円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出154億8百万円、有形固定資産の売却による収入14億42百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は20億94百万円(前年同期は32億35百万円の収入)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額70億円、長期借入金の返済による支出45億87百万円、配当金の支払額43億83百万円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年7月26日公表の予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,359	18,414
受取手形及び売掛金	186,451	196,175
商品及び製品	43,286	55,788
その他	16,034	17,529
貸倒引当金	△84	△88
流動資産合計	264,047	287,819
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	40,963	47,394
土地	46,417	50,319
その他(純額)	17,815	19,321
有形固定資産合計	105,195	117,034
無形固定資産	1,029	961
投資その他の資産		
投資その他の資産	23,336	23,662
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	23,331	23,657
固定資産合計	129,556	141,653
資産合計	393,603	429,473
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	151,806	175,647
短期借入金	2,500	9,500
未払法人税等	5,103	2,239
賞与引当金	1,713	806
返品調整引当金	181	198
その他	24,299	24,253
流動負債合計	185,604	212,646
固定負債		
退職給付引当金	2,451	2,524
その他	8,310	5,988
固定負債合計	10,761	8,513
負債合計	196,366	221,159

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,869	15,869
資本剰余金	27,827	27,827
利益剰余金	143,742	154,331
自己株式	△8	△9
株主資本合計	187,429	198,019
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,803	10,287
繰延ヘッジ損益	4	7
評価・換算差額等合計	9,807	10,294
純資産合計	197,237	208,314
負債純資産合計	393,603	429,473

( 2 ) 四半期損益計算書  
( 第3四半期累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第3四半期累計期間 ( 自 2018年4月1日 至 2018年12月31日 )	当第3四半期累計期間 ( 自 2019年4月1日 至 2019年12月31日 )
売上高	779,591	798,396
売上原価	718,609	736,663
売上総利益	60,982	61,733
販売費及び一般管理費	40,497	42,323
営業利益	20,484	19,409
営業外収益		
受取配当金	275	278
情報提供料収入	1,340	1,360
不動産賃貸料	105	99
その他	860	409
営業外収益合計	2,582	2,148
営業外費用		
支払利息	92	69
不動産賃貸費用	29	27
その他	2	12
営業外費用合計	124	109
経常利益	22,942	21,448
特別利益		
投資有価証券売却益	135	343
受取保険金	133	—
特別利益合計	269	343
特別損失		
固定資産売却損	8	—
固定資産除却損	47	5
減損損失	—	18
災害による損失	195	—
その他	6	12
特別損失合計	257	35
税引前四半期純利益	22,953	21,755
法人税、住民税及び事業税	6,485	6,263
法人税等調整額	657	518
法人税等合計	7,142	6,781
四半期純利益	15,811	14,974



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	22,953	21,755
減価償却費	3,314	3,658
減損損失	—	18
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,269	△907
返品調整引当金の増減額(△は減少)	24	17
退職給付引当金の増減額(△は減少)	186	91
受取利息及び受取配当金	△275	△279
支払利息	92	69
投資有価証券売却損益(△は益)	△135	△337
売上債権の増減額(△は増加)	△17,445	△9,724
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,831	△12,501
仕入債務の増減額(△は減少)	16,901	24,398
未収消費税等の増減額(△は増加)	△405	△260
未払消費税等の増減額(△は減少)	△349	△285
その他	△2,031	△1,297
小計	10,736	24,419
利息及び配当金の受取額	275	279
利息の支払額	△85	△64
法人税等の支払額	△8,012	△8,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,913	15,715
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,710	△15,408
有形固定資産の売却による収入	560	1,442
無形固定資産の取得による支出	△117	△157
投資有価証券の取得による支出	△95	△192
投資有価証券の売却による収入	186	805
その他	18	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,158	△13,565
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12,200	7,000
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△5,615	△4,587
リース債務の返済による支出	△91	△123
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△4,257	△4,383
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,235	△2,094
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,008	55
現金及び現金同等物の期首残高	21,648	18,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,639	18,414

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

①当第3四半期累計期間における販売実績を商品分類別に示すと、次のとおりであります。

商品分類別の名称	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	前年同四半期比 (%)
	金額 (百万円)	
化粧品	204,754	100.7
日用品	346,778	103.1
医薬品	106,792	99.7
健康・衛生関連品	127,533	105.6
その他	12,538	104.8
合計	798,396	102.4

(注) 上記の金額には、消費税等を含めておりません。

②当第3四半期累計期間における販売実績を販売先業態別に示すと、次のとおりであります。

販売先業態別の名称		当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	前年同四半期比 (%)
		金額 (百万円)	
Drug	ドラッグストア	505,038	103.3
HC	ホームセンター	73,825	100.1
CVS	コンビニエンスストア	57,888	100.6
DS、Su.C	ディスカウントストア、スーパーセンター	58,357	110.1
SM、SSM	スーパーマーケット、スーパースーパーマーケット	39,060	92.4
GMS	ゼネラルマーチャндаイジ ングストア	29,061	101.0
その他	輸出、その他	35,165	99.7
合計		798,396	102.4

(注) 上記の金額には、消費税等を含めておりません。